

(別添2_2)

介護認定審査会ペーパーレス会議システム導入事業_機能要件一覧

【タブレット端末】 123台

区分	No.	機能要求事項
基本要件	1	Apple社製iPad Air
基本要件	2	画面サイズ画面サイズ 13インチ以上
基本要件	3	容量：128GB以上
基本要件	4	端末の色：色は可能な限り同一色とすること。
基本要件	5	通信機能：日本国内で提供されている4G/5G/LTE回線が利用できること。
基本要件	6	電源：電源アダプタ及びケーブルが付属されていること。
基本要件	7	Split View機能が利用可能であること。
基本要件	8	タブレットケース:iPad Airに適合し、端末を保護できること。画面の開閉に連動したスリープ/復帰機能を有すること。スタンド機能を有すること。タッチペンを収納できること。純正品に限らず、同等以上の機能・品質を有する製品を可とする。
基本要件	9	タッチペン:iPad Airで使用可能であり、会議中のメモ記入や操作に支障のない精度を有すること。充電式とする。純正品に限らず、同等以上の機能・品質を有する製品を可とする。

【データ通信サービス】 123回線

区分	No.	機能要求事項
基本要件	1	タブレット端末で利用可能な4G/5G/LTEのデータ通信サービスを提供すること。
基本要件	2	データ通信については、1ヶ月あたり1台に対して10GBの通信が行えること。なお、10GBまでは通信速度が制限されないこと。
基本要件	3	10GBを超えた場合、容量追加に係る費用を支払うことで、速度制限の解除が行えること。
基本要件	4	毎月の基本使用料にユニバーサルサービス料、BBユニバーサルサービス料、電話リレーサービス料等の通信に必要な費用を含めること。
基本要件	5	回線毎の使用データ量、請求金額をシステムで閲覧できること。またCSVデータにて抽出が可能であること。
基本要件	6	災害対策として、大規模災害時において通信確保のための下記体制、設備を有すること。 ①無線局の無停電化、24時間以上の電力を確保すること。 ②車載型、可搬型移動無線局による迅速な通信回復体制を確保すること

【MDM】

区分	No.	機能要求事項
基本要件	1	MDMは日本製であること。
基本要件	2	タブレットに対し、管理者自らが回線利用停止・遠隔ロック・遠隔初期化できる機能を有すること。
基本要件	3	遠隔でアプリケーションをインストール・アンインストール・アップデートできる機能を有すること。
基本要件	4	タブレット端末機能を制限できる機能（未許可アプリケーションのインストール禁止、アプリケーションの削除禁止）を有すること。
基本要件	5	タブレット端末の位置情報を収集できること。

【WEB会議システム(参考システム:LINEWORKS)】

区分	No.	機能要求事項
基本要件	1	ビデオ通話でオンライン会議ができる機能を有すること。
基本要件	2	ライセンス（アカウント）はクライアント端末123台を賄える数とし、必要に応じて追加できること。ライセンス追加費用は本業務の対象外とし、別途協議することとする。
基本要件	3	同時ビデオ通話機能が128名以上可能なこと。
基本要件	4	参考システムと同等の機能・セキュリティポリシーを満たすシステムであること。
基本要件	5	サービス約款、利用規約、SLAが存在していること。
基本要件	6	日本の裁判管轄、法令が適用されること（国内リージョン、海外保存なし）。
基本要件	7	サービス中断時の復旧要件が契約またはSLAに規定されていること。
基本要件	8	サービス終了・変更時の通知・移行方法が契約に規定されていること。
基本要件	9	目的外アクセスの禁止が契約に定められていること。
基本要件	10	契約終了時のデータ返還・消去方法が定められていること。
基本要件	11	インシデント対応の責任分担・連絡方法が契約またはSLAに定められていること。
基本要件	12	セキュリティ対策や契約履行状況の確認方法が契約またはSLAに規定されていること。
基本要件	13	セキュリティ対策が不十分な場合の対処方法が契約またはSLAに規定されていること。
基本要件	14	利用規約・設定変更時の通知・確認方法が契約またはSLAに定められていること。
セキュリティ要件	15	情報セキュリティ対策の実施内容・管理体制が確認できること。
セキュリティ要件	16	意図しない変更を防ぐ管理体制が確認できること。
セキュリティ要件	17	セキュリティ認証（ISMS、プライバシーマーク等）を取得していること。
セキュリティ要件	18	ネットワーク通信が暗号化されていること。
セキュリティ要件	19	サーバに格納するデータが暗号化されていること。
セキュリティ要件	20	クラウドサービスにおけるセキュリティ対策が公開されている。
セキュリティ要件	21	事故予防策が策定・運用されていること。
セキュリティ要件	22	事故発生時の対応策が策定され、訓練結果が反映されていること。
セキュリティ要件	23	個人情報保護法で定められた安全管理措置を実施していること。
セキュリティ要件	24	稼働率、復旧時間・ポイント、バックアップ保管方法がSLAに規定されていること
セキュリティ要件	25	ハードウェア（サーバ等）が冗長化されていること。
セキュリティ要件	26	アクセスログが取得・照会可能であること。
セキュリティ要件	27	365日・24時間運用可能であること（保守停止は計画的）。

データセンター要件	28	所在地が情報の機密性区分上、適切であること。
データセンター要件	29	立地条件が地盤・周辺環境の観点で安全であること。
データセンター要件	30	非常用電源設備が設置されていること。
データセンター要件	31	自社直営または運用管理形態が明確であること。
データセンター要件	32	耐震・免震設計（震度6以上）であること。
データセンター要件	33	年1回程度の立ち入り検査・確認が可能であること。
データセンター要件	34	DDoS対策、OS・ミドルウェアのパッチ管理が適切に行われていること。
データセンター要件	35	常駐要員または監視カメラによる監視が行われていること。
データセンター要件	36	従業員に対する事故対応の教育・訓練が定期的を実施されていること。
データセンター要件	37	入退室管理が適切であること。

【ペーパーレス会議システム】

区分	No.	機能要求事項
基本要件	1	クライアント端末からクラウド上のサーバーに、インターネット接続によりアクセスし、審査会資料等の文書を登録及び閲覧、メモ記入ができるシステムであること。また、会議のカレンダー表示ができ、審査会の事前判定に対応していること。
基本要件	2	ライセンス（アカウント）は入札仕様書「4. 環境情報」を賄える数とし、必要に応じて追加できること。ライセンス追加費用は本業務の対象外とし、別途協議することとする。
基本要件	3	サーバーのデータ容量は2GB以上確保することとし、必要に応じ協議の上、増減することができること。
基本要件	4	資料閲覧用のアプリケーションではWindows10及び11及び最新バージョン、Android、iOS、MacOS及びiPadOSの最新のバージョンに対応していること。
基本要件	5	アプリケーションはOSの種類およびバージョンに依存することなく、起動時に全画面表示で起動されるとともに、表示領域を最大限に使用し、画面内に不必要な余白や縮小表示が発生しないこと。
基本要件	6	ipadのSplit View機能を利用してWEB会議システムとの2分割表示が可能であること。
基本要件	7	自治体への導入実績のうち、介護認定審査会での導入実績が2件以上あるシステムであること。
基本要件	8	ID・パスワードによるユーザー認証及びIPアドレスや端末ID等による端末認証の機能を備えていること。
基本要件	9	不正アクセスや情報漏えい、ウイルス対策などがシステム上に講じられていること。
基本要件	10	ユーザーを合議体などのグループで登録でき、かつ同一ユーザーを複数のグループに登録できること。
基本要件	11	開催する審査会について、ユーザーごと（所属ごとやグループごとを含む）にアクセス制限を設定することが可能であること。
基本要件	12	ユーザーが同時にサーバーに接続・文書ファイルを閲覧しても支障なく審査会が同時に行えること（最大45台）。
基本要件	13	保存されたデータは定期的にバックアップができること。また、サーバー等の障害発生時にはバックアップから復元可能であること。
基本要件	14	端末認証や接続先認証等の機能を有していること。
基本要件	15	バージョンアップ等により、システムのUIが大きく変更されないこと。
基本要件	16	サービス約款、利用規約、SLAが存在していること。

区分	No.	機能要求事項
基本要件	17	日本の裁判管轄、法令が適用されること（国内リージョン、海外保存なし）。
基本要件	18	サービス中断時の復旧要件が契約またはSLAに規定されていること。
基本要件	19	サービス終了・変更時の通知・移行方法が契約に規定されていること。
基本要件	20	目的外アクセスの禁止が契約に定められていること。
基本要件	21	契約終了時のデータ返還・消去方法が定められていること。
基本要件	22	インシデント対応の責任分担・連絡方法が契約またはSLAに定められていること。
基本要件	23	セキュリティ対策や契約履行状況の確認方法が契約またはSLAに規定されていること。
基本要件	24	セキュリティ対策が不十分な場合の対処方法が契約またはSLAに規定されていること。
基本要件	25	利用規約・設定変更時の通知・確認方法が契約またはSLAに定められていること。
セキュリティ要件	1	第3者からの不正なアクセス、情報漏洩を防ぐ仕組みを備えていること。
セキュリティ要件	2	本システムを利用しているクライアント端末が紛失した場合に、アカウントを無効にする等の情報漏洩防止できる機能があること。
セキュリティ要件	3	ユーザーは、システムへのログインにより資料を閲覧できるものとし、システム外へのデータ保存、データ出力または紙への印刷ができないものであること。
セキュリティ要件	4	管理者は利用者の端末をアプリ内の固有番号を用いて特定することができること。
セキュリティ要件	5	管理者は利用者の端末紛失等が発生した場合、該当のユーザーの特定の端末を即時利用停止にすることができること。
セキュリティ要件	6	管理者は、利用者の操作ログを必要に応じて閲覧することができ、利用者が文書を閲覧した日時・頻度・位置情報などの場所を確認し不正利用の有無を確認することができること。
セキュリティ要件	7	情報セキュリティ対策の実施内容・管理体制が確認できること。
セキュリティ要件	8	意図しない変更を防ぐ管理体制が確認できること。
セキュリティ要件	9	セキュリティ認証（ISMS、プライバシーマーク等）を取得していること。
セキュリティ要件	10	ネットワーク通信が暗号化されていること。
セキュリティ要件	11	サーバに格納するデータが暗号化されていること。
セキュリティ要件	12	クラウドサービスにおけるセキュリティ対策が公開されている。
セキュリティ要件	13	事故予防策が策定・運用されていること。
セキュリティ要件	14	事故発生時の対応策が策定され、訓練結果が反映されていること。
セキュリティ要件	15	個人情報保護法で定められた安全管理措置を実施していること。
セキュリティ要件	16	稼働率、復旧時間・ポイント、バックアップ保管方法がSLAに規定されていること
セキュリティ要件	17	ハードウェア（サーバ等）が冗長化されていること。
セキュリティ要件	18	アクセスログが取得・照会可能であること。

区分	No.	機能要求事項
セキュリティ要件	19	365日・24時間運用可能であること（保守停止は計画的）。
データセンター要件	1	所在地が情報の機密性区分上、適切であること。
データセンター要件	2	立地条件が地盤・周辺環境の観点で安全であること。
データセンター要件	3	非常用電源設備が設置されていること。
データセンター要件	4	自社直営または運用管理形態が明確であること。
データセンター要件	5	耐震・免震設計（震度6以上）であること。
データセンター要件	6	年1回程度の立ち入り検査・確認が可能であること。
データセンター要件	7	DDoS対策、OS・ミドルウェアのパッチ管理が適切に行われていること。
データセンター要件	8	常駐要員または監視カメラによる監視が行われていること。
データセンター要件	9	従業員に対する事故対応の教育・訓練が定期的実施されていること。
データセンター要件	10	入退室管理が適切であること。
データセンター要件	11	地震、火災、漏水等の災害対策が十分にとられていること。
文書等の登録	1	審査資料の登録を、ドラッグ&ドロップ操作等で容易に行えること。
文書等の登録	2	PDFファイルの資料を登録できること。
文書等の登録	3	公開前に、取り込んだ審査資料の内容が確認できること。
文書等の登録	4	1つにまとまったPDF資料が審査対象者ごとに自動で分割し別々のファイルとして登録できること。
文書等の登録	5	資料へのマスキングが可能であり、マスキングを実施した箇所の背景にある文字情報が読み取れなくなる配慮が実施されていること。
文書等の登録	6	審査資料やフォルダの移動、追加、削除ができること。
文書等の登録	7	審査資料の保存期間を設定し、期間が過ぎれば自動で削除できること。
文書等の登録	8	各データごとにダウンロード及び印刷の可否の設定ができること。
文書等の登録	9	審査会の日時設定が可能であり、カレンダーやリスト一覧表示ができること。
文書等の登録	10	該当合議体の非対象ユーザー及びグループは会議日程を表示できないように制限できること。
登録文書の閲覧	1	アプリでは利用OSごとにユーザーインターフェースに差がないこと。
登録文書の閲覧	2	アプリでは、タッチパネル上のピンチイン・ピンチアウト操作、または画面上のボタン操作で資料の拡大縮小ができること。
登録文書の閲覧	4	審査資料の一覧をサムネイル表示することができ、資料の選択が容易であること。
登録文書の閲覧	5	アプリでは閲覧権限のある資料の一括ダウンロードを待たずに資料の閲覧ができること。
登録文書の閲覧	6	審査会中に進行者と参加者の画面を同期表示する機能を有すること。また、審査会中、容易に同期や非同期の表示切り替えが可能であること。

区分	No.	機能要求事項
登録文書の閲覧	7	2ページごとの見開き表示ができること。
登録文書の閲覧	8	2画面表示の内、一つの画面は、進行者と参加者の同期表示が可能であること。
登録文書の閲覧	9	2画面表示の際、別の対象者の画面を参照すると対象者誤り防止のための確認画面が表示されること。
登録文書の閲覧	10	審査資料の閲覧はオフラインでも可能なこと。
登録文書の閲覧	11	メモやマーカー、付箋（しおり）等、審査資料の閲覧に適した機能を有すること。
登録文書の閲覧	12	アプリでは、マーカーツールを利用することでPDFにマーカーを引くことができ、フリーハンドの縦線または横線が、自動的に直線に補正されること。
登録文書の閲覧	13	メモ書きの一括削除・部分消去が可能であること。
登録文書の閲覧	14	手書きメモはIDごとに管理され、同一IDであれば、異なる端末からでも同じ内容が見られること。
登録文書の閲覧	15	閲覧履歴表示から最近見た審査資料に素早く切り替えが可能であること。
事前審査の登録	1	アプリでは各審査会委員が各申請者資料を見ながら、任意の事前判定値を入力することができること。
事前審査の登録	2	アプリでは、要介護度、認定期間、自由記述の各項目から事務局が設定した項目の情報を入力することができること。
事前審査の登録	3	審査会委員の事前審査の内容の登録は、システム管理者が定める「事前審査の締め切り」まで何度でも変更することができること。
事前審査の登録	4	合議体の審査会委員の中で、1名でも事前審査入力に相違がある場合、該当審査対象者が明示されること。
事前審査の登録	5	事前審査の入力結果を自動で集計できること。
会議管理	1	管理者サイトでは、フォルダーや資料の登録画面とは別に、アプリのカレンダーに表示される会議を設定するための専用画面が用意されていること。
会議管理	2	会議のカレンダーを作成する際、既に登録済の資料のうちから各フォルダーを横断し必要な資料だけを選んで会議を作成することができること。
会議管理	3	会議参加者と日時を指定した会議を作成することができること。
会議管理	4	会議の作成と同時に、参加者に対して任意のメッセージをメール配信することができること。また、本文の内容はアプリからも閲覧ができ、WEB会議用URLのハイパーリンクを記載できること。
会議管理	5	過去に作成した会議情報は、意図的に削除しない限りカレンダーに表示され続け、参加者はいつでも資料を見返すことができること。
会議管理	6	管理者サイトでは、各審査会委員が入力した事前判定値を一覧で確認することができること。
会議管理	7	管理者サイトでは、各審査会委員の事前判定値が一致しない申請者は強調表示され、容易に視認することができること。
審査会	1	アプリでは、審査会資料が登録されている画面上に必要に応じてWEB会議を起動するURLを表示させることができること。
審査会	2	各審査会委員はお互いの入力した事前判定値を閲覧できないこと。ただし事務局が公開設定をした以降は全員が閲覧できること。
審査会	3	2次判定結果の入力ができ、判定結果は本市が必要とする形でファイル出力(csvダウンロードなど)ができること。